



## 第2期（2023年度）事業活動報告

2023年10月1日～2024年9月30日

福島県福島市飯坂町字一本松 11-7



# はじめに

福島第一原発事故から13年を経て、人々の放射能汚染に関する関心が低下し、政府や自治体による被ばくリスクの軽視政策が相まって、市民放射能測定室への関心や関心度が低下し、活動の維持には困難性が増しています。「みんなのデータサイト」参加測定室数も最大34測定室であったものが、現在は24測定室になっています。

しかし、放射能汚染は終わっていません。土壌表層に沈着したセシウム137の半減期は30年、すなわちまだ約73%がまだ残っています。それが巻き上げられて粉塵となり、汚染地域では吸入による内部被ばくが続いています。森林の中では、落葉～腐葉土～樹木への吸い上げの循環が維持され、そこで採取される山菜や野生キノコの汚染は高止まりが続いています。それらを餌とするイノシシやクマなどの野生鳥獣肉の汚染も続いています。事故を起こした福島第一原発では、40年廃炉という根拠のないプログラムのもとで、多くの作業員が無用な被曝をしながら働いています。溶融デブリの撤去など端から見込みがなく、次の大地震が起きた時の新たな重大汚染が発生する恐れが指摘されています。そして、先頃、岸田現政権が打ち出した原発回帰政策は、次の重大事故への序章となる可能性をもっています。

こうした状況の中で、市民放射能測定室の存続とさらなる充実の意義はますます増えています。存続が難しくなっている中で、存続の意義が増しているという矛盾した状況の中、私たちは「みんなのデータサイト」のNPO法人化を選択しました。そして1年半が経ちました。全国の測定室と測定活動を共に支えあいながら継続させていくためには、参加測定室同士の連携、相互協力が不可欠です。NPO法人総会は、そのための貴重な機会です。万障繰り合わせて、出来れば全測定所が参加していただきたいと思えます。

## 1. データ収集と公開事業

### ■市民放射能測定室等のデータ収集と公開事業

2023年10月～2024年9月までの食品・環境試料データベース登録公開件数 764 件(累計22,638件)

同期間の土壌データベース登録件数 265件(累計3,877件)

内訳 標準検体(17都県土壌プロジェクト)0件(累計3,468件)

標準検体(17都県以外土壌)1件(累計4件)

非標準検体(+過去データ)238件(累計238件)

災害時土壌プロジェクト0件(累計33件)

高濃度土壌検体26件(累計134件)

- ・ホームページ閲覧者数 3.2万人、7万6000PV(ページビュー) \*

\* 特定のウェブサイトやウェブページがユーザーによって閲覧された回数を表す指標

### ■放射能汚染の現状を記録し、未来へ伝える事業

- ・出版事業 (出荷数)

図説17都県放射能測定マップ+読み解き集(増補版)73冊(献本20冊を含む、在庫512冊)

図説17都県放射能測定マップ+読み解き集(旧版)4冊(出荷数-返本数を含む、在庫260冊)

Citizens' Radiation Data Map of Japan 6冊(献本2冊を含む、在庫297冊)

### ■ウェブサイト・システムについての活動・更新

- ・2023 年キノコプロジェクト解析結果公開
- ・2024 年タケノコ・山菜プロジェクト解析結果公開

### ■システム保守

- ・Cs-134の減衰理論比判定システムをデータ登録の入力フォームに組み込む開発
- ・100年マップ表示用CSVを出力するにあたり減衰補正計算に不備が有るデータが出力される問題についてのプログラム改修。

## 2. 市民放射能測定室サポート事業

### ■測定器精度確認事業

基準玄米 作成数 0キット、利用数 6測定室

### ■測定器調整作業 AT1320Aのチャンネルずれを調整1測定器

■測定室活動紹介事業 → 各測定室が対外的に行う事業の広報支援 (Facebook、ウェブサイトブログにて) Facebook 7回、ウェブサイトブログ 1回

■測定室交流事業 → メーリングリストの運営 (参加アカウント数 61人) 102スレッド\*

\* 電子メールや掲示板、SNSなどのメッセージのやり取りにおいて、1つのテーマに関するメールや投稿メッセージのまとめ

### ■技能継承事業

「市民測定室のつくり方」プロジェクトの継続

ガイドブック『市民放射能測定室の作り方(仮題)』の出版に向けたプロジェクト。

東京電力福島第一原発事故の後、日本各地で市民放射能測定室が発足しました。そこでは資

金や資源の制約のもと、さらに素人ゆえの試行錯誤を通じて、測定方法と測定室運営に関する様々な知見や技術が蓄積されました。しかし現在は高齢化や後継者不足で閉室へと至るところも少なくなく、このままでは貴重な知見や技術は継承されずに終わってしまうことが予想されます。本事業では、その知見と技術の詳細を明らかにしたうえで、市民が広く共有できる形であるガイドブック『市民放射能測定室の作り方（仮題）』を作成します。

今年度は、測定室の立ち上げ時から現在までの諸課題について尋ねる詳細なアンケート調査とインタビュー調査を行いました。

アンケート送付 84測定室

アンケート回答 42測定室

インタビュー実施 22測定室（訪問・ZOOM）

測定器（検出器）ハード面サポート 1測定室 那須・希望の砦で稼働中のAT1320Aがチャンネルずれによって測定ソフト立ち上げ時のチャンネルチェックがクリアできない問題発生に対して、検出器部のチャンネル調整を行い、測定ソフトが動作するようにサポートを行いました。

※ この事業は、高木仁三郎市民科学基金の助成を受けています。

#### ■原子力防災事業

「原子力災害に備えるための実践体験学習」

事業企画をスタートさせました。

※ この事業は、真如苑防災減災公募の助成を受けています。

#### ■掲載実績

2023年12月キリスト教系の団体CWMの冊子INSiGHT2023年11月号の14ページから17ページに、

「トリチウム等アルプス処理汚染水の海洋放出」抗議文が掲載されました（英文）。

<https://www.cwmission.org/resources/insight/>

2024年03月13日

ダイアログフォーピープル（Dialogue for People）の取材レポートに100年マップ等を引用

「国内避難民」としての福島第一原発事故避難者——区域外避難者の人権保障を問う裁判」と題した田中えりさんのレポートにみんなのデータサイトの「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト 放射性セシウム汚染減衰推計100年マップ」と、「チェルノブイリ法の区分と日本における避難指示区域の比較」表を引用。

避難指示区域外からの避難者に対する、いわゆる「追い出し裁判」について、経緯や問題点などをとても詳しく書かれています。

<https://d4p.world/news/24994/>

### 3. 放射能測定・調査事業

#### ■2023キノコ測定プロジェクト

■期間：2023年8月～11月（1～5月採取のものも含めて）

調査対象：放射能汚染に指定された17都県に生息する野生キノコ

参加測定室：6測定室（那須希望の砦、C-ラボ、はかるなら、森の測定室滑川、めとば、ふくしま30年プロジェクト）

測定検体数（2023年8月～11月の3カ月間）：79件〔解析に使用した件数〕（うち2件は名称不明キノコ）

全事業費：245,532円のうち、本年度分は151,030円、昨年度分は94,502円が事業費となりま

す。

検体採取協力：全国の菌類懇話会のみなさま

概要報告：72件の測定検体のうち、73%（58件）に放射性セシウムを検出しました。  
そのうち食品衛生法に定められた基準値である 1 キログラムあたり 100 ベクレルを超えたものは 17件（22%）でした。

報告ページ URL <https://minnanods.net/analyze/food-data/2023autumn.html>

#### ■ 2024 タケノコ・山菜測定プロジェクト

期間：2024/2/8～2024/7/21

参加測定室：7測定室（あがのラボ、那須希望の砦、森の測定室滑川、

はかるなら、てとてと、C-ラボ、ふくしま 30年プロジェクト）

測定検体数：タケノコ 46検体

山菜 199検体

事業費：343,226円

概要報告：タケノコ 46件のうち、放射性セシウムを検出したのは 63%でした。また、食品基準値超過はありませんでした。

同様に、山菜199件のうち、放射性セシウム検出は 45%で、基準超過は 3%でした。昨年と比較すると基準超過が大幅に低下していますが、コシアブラについては基準超過率が 6.7%と他の山菜類よりも高くなっており、山菜の中での高濃度傾向は続いています。

報告ページ URL <https://minnanods.net/analyze/food-data/2024spring.html>

※ この事業は、12人の絵本作家が描くおうえんカレンダーの助成を受けています。

※ この事業は、JIM-NET（2023 キノコ測定プロジェクト、2023.5～2024.2）の助成を受けています。

#### ■ 山形市保健所所長、山形県知事、消費者庁への要望書提出

はかるならが2024年8月18日（日）に測定した天然キノコのアカヤマドリ（山形県産）から食品衛生法に定めた放射性セシウムの基準値(100Bq/kg)を超える277Bq/kgもの数値が検出されました。この一件を消費地保健所である奈良市保健所へ通報しました。奈良市保健所は産地保健所である山形市保健所にこの旨を連絡しましたが、先方からは「正式な機関ではない市民測定室のような民間団体の私的な測定結果では受け付けられない」との返答があったとのこと。これに対して同年9月10日にNPO法人みんなのデータサイトとして、山形市保健所所長、山形県知事、消費者庁へ事実関係の確認について文書での回答と、改めて市民測定室からの測定結果を受け入れて食品衛生法違反として適切な対応を取ることを要望書で提出しました。山形市保健所からは要望書に対しての回答が郵送で届き、山形県の担当者からは要望書を受け取ったこと、何らかの回答をすべく部内で検討中であるとする連絡がメールでありました。唯一、消費者庁からは正式な反応がありません。

#### ■ ハウスダストプロジェクト

元帰還困難区域等の浜通り地域および他都道府県を含め、掃除機ゴミの放射能測定プロジェクトを発足。今期は測定手法の確立を探りながら、試験的なサンプリング・測定を行ないました。

あがのラボで、標準検体の作成を試行中。福島ラボで1検体を検出器に対しての順置きと天地を反対にしての逆置きで試験測定を実施。

Cラボで 試験測定を数検体実施。賛助会員向けのニュースレターでサンプリングの募集を呼びかけました。

## ■福島ラボ開設

2024年 9月1日より認定NPO法人ふくしま30年プロジェクトから寄贈された放射能測定器を活用した「福島ラボ」設立と、それにもなつての放射能測定事業を開始しました。

9月(開設初年度)測定件数 23件

### 主な測定器

ゲルマニウム半導体核種分析器(PGT社IGC16190)一台  
ホットスポットファインダー(三点同時測定ができるマルチタイプ)一台  
シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社TCS-172B)三台  
表面汚染計(日立アロカメディカル社TGS-146)一台  
未来の福島こども基金より無償貸与された測定器  
ヨウ化ナトリウムシンチレーションカウンター(ATOMTEX社AT1320A)一台  
ホールボディカウンター(ATOMTEX社AT1316) 一台

### 測定料金等 (一般向け料金)

ゲルマニウム半導体検出器

3時間 10,000円(税込) 検出下限値0.5Bq/kg前後

1時間 5,000円(税込) 検出下限値1.0Bq/kg前後

NaI検出器 AT1320A

3時間 5,000円(税込) 検出下限値1.5Bq/kg前後

1時間 2,000円(税込) 検出下限値2.5Bq/kg前後

WBC

10分 3,000円(税込)

※ 福島県産のものを中心として測定するゲルマニウム半導体検出器の運用については、未来の福島こども基金から使途特定寄付金をいただいています。



## 4. 講演会、学習会事業

今年度は以下の通り、一般公開 5回、測定室向け 2回、計7回の事業を実施しました。いずれもオンライン会議システムZOOMを使用し、後日アーカイブ視聴も可となっています。

2024. 2. 17 安定ヨウ素剤オンライン配布説明会 (講師: 牛山元美) 87人申し込み

2024. 2. 26 能登半島からの警告を読み解く (講師: 大沼淳一) 90人申し込み

2024. 4. 17 山菜・タケノコの放射能の傾向を知ろう (講師: 大沼章子) 68人申し込み

2024. 5. 13 保育園と一緒に歩んできた 森の測定室滑川放射能測定の13年 (講師: 根岸主門、鈴木夕子) 41人申し込み

2024. 7. 8 市民運動の軌跡と札幌市測定給食食材12年間のデータを読む (講師: 富塚とも子・佐々木百合香) 48人申し込み

※ 安定ヨウ素剤配布については、オンラインショップBASEから随時申し込み可能。9月末現在、追加で25人からの申し込みを受けています。

## 5. 市民連携をはかる事業

国内外の関連団体との情報交換・交流事業として下記4団体と連携を行いました

■Manhattan Project for Nuclear Free World (<https://www.mp-nuclear-free.com/>)

北米の木灰に含まれるセシウムを測定する「1030プロジェクト」を実施。4検体の木灰と野生キノコのパウダー測定を行ないました。引き続き、来季に向けてのミーティングを企画中です。

■ NPO 子ども全国ネット (<https://kodomozenkoku.com/>)

ミーティングへの参加、共同プロジェクトの模索

■ 一般社団法人Nippon AWAKES (<https://profile.nipponawakes.com/>)

2024. 9. 16~10. 12 「Legacy3. 11」東日本大震災に関するイタリアで開催したアート展に土壌マップ・100年マップを提供、展示。中村が実行委員会スタッフとして参画しています。

■ FoE Japan (<https://ameblo.jp/pokapro/>)

2024. 1. 3~8、8. 10~12 ぽかぽかプロジェクト（福島県猪苗代町で保養）に清水がスタッフとして参加しました。

## 6. その他の事業

### ■ 管理事業 会議実績

(臨時を含む)運営ミーティング 26回

理事会 2回

総会 1回

助成金についてのミーティング 10回

事務局ミーティング 2回

つくりかたプロジェクトミーティング 33回

イベントチームミーティング 6回

ハウスタストプロジェクト ミーティング 3回

ウェブサイト(システム)改修をテーマとする斉藤先生とのミーティング 10回

原子力防災プロジェクトミーティング 2回

その他(外部・単発ミーティング等) 3回

合計 96回

### ■ 制作物



ニュースレターの発行

2024年2月、2024年6月、2024年9月 計3回発行。

## ■助成金実績

- ・ JIM-NET : 30万円 (2023 キノコ測定プロジェクト、2023. 5~2024. 2)
- ・ 12 人の絵本作家によるおうえんカレンダープロジェクト : (継続助成) 20万円  
(キノコ・タケノコ・山菜測定プロジェクト、2024. 4~2026. 3)
  
- ・ 高木仁三郎市民科学基金 : 40万円 (実践・市民放射能測定室の作り方~市民が培った確かな測定技術の継承を目指して~、2023. 8~2024. 7)
- ・ 高木仁三郎市民科学基金 : 50万円 (実践・市民放射能測定室の作り方~市民が培った確かな測定技術の継承を目指して~、2024. 8~2025. 7)
  
- ・ 真如苑 市民防災・減災活動 公募助成 : 50万円 (原子力災害に備えるための実践体験学習、2024. 8~2025. 7)

## ■会員数

正会員	28名	賛助会員	50名
-----	-----	------	-----